



2011年9月9日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 078-306-0590)

新規肺がんマーカーに対する抗体ならびにその診断応用に関する特許出願について

株式会社トランスジェニック(代表取締役社長：福永健司、熊本県熊本市)と独立行政法人国立がん研究センター(以下、国立がん研究センター)(理事長：嘉山孝正、東京都中央区)は、このたび新規肺がんマーカーに対する抗体ならびにその診断応用に関して、共同で国際特許出願を行いましたので、お知らせいたします。

当社では、国立がん研究センターとの間で締結しております共同研究契約のもと、各種新規腫瘍マーカーの研究開発を行っております。

この共同研究の一環として、当社は、国立がん研究センター研究所創薬臨床研究分野・本田一文ユニット長、山田哲司上席副所長らが発見した小細胞性肺がん等の診断に有用な新規腫瘍マーカーに対する抗体をGANP®マウス技術を用いて作製しました。本成果により、小細胞性肺がん等の患者に存在する本マーカーの検出および診断精度の向上を図ることが可能になります。

当社は、本抗体の将来的な診断薬開発に向けて知的財産権を早急に確保することが、事業戦略上必要と判断し、このたび国立がん研究センターと共同で国際特許出願をすることにいたしました。

当社は、引き続き国立がん研究センターとの共同研究を継続し、小細胞性肺がん等の診断に有用な簡易検出システムの開発や診断薬メーカーへのライセンスなど、実用化に向けた取り組みを進めて参ります。

なお、本共同出願の平成24年3月期の連結業績への影響は軽微であり、業績予想に変更はありません。

◆ご参考 : 小細胞性肺がん

小細胞性肺がんは、肺癌全体の約20%とされていますが、肺がんの中で最も進行が早く、殆どの場合、多臓器転移を伴う進行がんとして発見されることから、高い悪性度と予後不良で知られる疾患の一つです。そのため、早い病期での診断精度を向上させることが強く求められています。

: GANP®マウス技術

GANP (Germinal Center Associated Nuclear Protein) とは、熊本大学 阪口薫雄教授らにより発見された遺伝子で、抗体を産生するB細胞で発現しています。

GANP®マウス技術とは、このGANP遺伝子を過剰に発現させたGANP®マウスを用いて抗体を作製する技術です。GANP®マウスで得られる抗体は、親和性や特異性の高いことが特徴で、診断薬や抗体医薬の開発への展開が可能です。

以上